

米国の臨界前核実験に抗議する

核兵器廃絶・平和建設国民会議
(略称 KAKKIN)
事務局長 岩附 宏幸

4月12日、米国が昨年6月と9月に核爆発を伴わない臨界前核実験を実施していたことが明らかになった。KAKKINはいかなる国の核兵器、核実験に反対するものであり、強く抗議する。

ロシアのウクライナ侵略で「軍事力を抑え込めるのは軍事力」との論調が高まりつつある中で、米国が核実験を公表したことには、何らかの狙いがあるのかもしれない。しかしそれが何であれ、核実験は核軍拡競争をあおり、核軍縮・核廃絶の流れを逆行させるものである。断じて許すことはできない。

米国は、今年1月3日の核保有5大国の共同声明と1月21日の日米両政府の核兵器不拡散条約に関する共同声明で、核軍縮に向けた意思を表示していた。それだけに残念な思いである。米国は自らの原子爆弾で、広島、長崎にあれだけの惨事を引き起こしたことを忘れてはならない。2つの共同声明の中に盛り込まれた「核兵器のない世界」という最終目標を追求していくことを強く求める。

以上